

令和6年度

「エイジレス・ライフ実践事例及び社会参加活動事例」の紹介事例 の決定について

内閣府では、既に高齢期を迎え、又はこれから迎えようとする世代の高齢期における生き方の参考としてもらうため、高齢者が年齢にとらわれず自らの責任と能力において自由に生き生きとした生活を送る「エイジレス・ライフ」を実践している高齢者の事例を紹介しています。

今年度、本県推薦者から別紙のとおり「エイジレス・ライフ実践事例及び社会参加活動事例」に3事例が決定されました。

○受章者

【エイジレス・ライフ実践事例】

- ・市野 弘（いちの ひろし）さん 76歳（岩出市）
- ・島本 忠生（しまもと ただお）さん 81歳（岩出市）

【社会参加活動事例】

- ・いきいきシニアわかやま（和歌山市）

○全国の紹介事例について

都道府県、指定都市、中核市及び高齢者関連団体から推薦を行い、エイジレス・ライフ実践事例49件、社会参加活動事例29件が決定されました。受章者には内閣府特命担当大臣名の書状と記念品の楯が交付されます。

(連絡先)

福祉保健部福祉保健政策局長寿社会課 地域包括ケア推進班
担 当：鶴田、撫養
電 話：073-441-2522
内 線：2522

○本県の紹介事例について

【エイジレス・ライフ実践事例】

氏名等	エイジレス・ライフの概要
<p>市野 弘 (いちの ひろし) さん</p> <p>76 歳</p> <p>(岩出市)</p>	<p>個人や団体で活動しているボランティアをつなげる「いわで地域ボランティアネットワーク」の代表を務めており、会員同士協力しながら、様々な活動をしている。「ふれあい処ふらり赤垣内(相談室併設)」として自宅の一室を開放し、地域の高齢者の方々の様々な相談に応じるとともに、自宅前のガレージに自分の蔵書や寄付していただいた本を置いた、こどもも大人も集う「ふらり図書館」も開設している。また、地域の元気な高齢者で「健康生きがいづくり一座」を結成し、歌や踊り、フラダンス、南京玉すだれ、マジックなど、メンバーの特技を生かした涙あり笑いありの公演を、高齢者施設や障害者施設などで行っている。長距離を歩くのが大変な高齢者の方々が散歩や買い物をあきらめることがないように、街中に休憩スポットを作る取組も行っている。</p>
<p>島本 忠生 (しまもと ただお) さん</p> <p>81 歳</p> <p>(岩出市)</p>	<p>日本絵手紙協会公認講師の資格を取得後、平成 20 年から毎月 2 回、カルチャー教室や公民館の絵手紙クラブで絵手紙の講師をはじめ、同 24 年からは毎月 2～3 回、高齢者等を対象にカルチャー教室、公民館活動及び高齢者施設において絵手紙教室を開催している。更には、岩出市内の 6 つの小学校からも講師依頼があり、放課後に希望する児童(1 校約 50 名)を対象に、年 1 回開催している。また、地域住民、とりわけ高齢者の交通手段となっている和歌山電鉄株式会社貴志川線が赤字で困っていたことから、同社に集客の一環として車内に絵手紙の展示を提案し実施することとなった。以上のとおり、同人は長年にわたり絵手紙を通じて、文化の振興のみならず児童の豊かな心を育み、高齢者の生きがいを引き出し、更には地方創生にも多大なる貢献をしている。</p>

【社会参加活動事例】

グループ名等	社会参加活動内容
<p>いきいきシニアわかやま (和歌山市)</p>	<p>和歌山県社会福祉協議会がサラリーマン 0B 生きがい活動支援事業にて募集した「エンジョイスト養成講座」受講生が講座終了後に「いきいきシニアわかやま」を立ち上げ、平成 20 年 4 月に活動開始した。運営資金確保のため会員制(1000 円/年)でスタート、年々会員も増加し令和 5 年度には 484 人になった。活動内容は、パソコン教室、リズム体操、バスツアー、ハイキング、歴史散策など運営委員が知恵を出して企画した事業を展開。発足当初の運営委員は 8 名だったが、令和 5 年度では 22 名(うち女性 8 名)。現在は、運営委員 3 名がチームとなり、企画から準備、当日の運営、終了後の結果報告、会計報告を行っている。高齢者の方々が各種イベントに参加することにより会員相互の人間関係と生きがいを得ることを目的に活動を続けている。</p>